

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2015
February

No. 155

2



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 2

営農総合支援センター

- 豪雪被害に係る野菜の生産支援
- JA 営農経済渉外活動の導入・実践にともなう総合的な支援
- 担い手支援のための取り組み
- 食の安全・安心対策への取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

米麦特産課

- きのか種菌・種駒推進
- こんにゃく荒粉・精粉入札販売推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計上州ねぎ販売 (2月末日迄)
- 共計春菊販売 (3月上旬迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)
- 共計土ねぎ販売 (3月末日迄)
- 共計ブリックスナイン販売 (6月末日迄)
- 県統一規格共計きゅうり販売 (7月末日迄)

販売促進課

- 春野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 雪害によるハウス建替資材の手配及び納入
- 雪害による出荷資材対応
- 春用出荷資材予約推進
(ほうれん草・きゅうり・山うど・ふき他)
- 平成27年産青果物段ボール予約推進
- 温床資材予約推進(農ビ・ポリ・マルチ他)

- 春用野菜種子推進
(ほうれん草・枝豆・とうもろこし他)

生産資材部

生産資材部

- 売出し・フェアの実施
☆花木流通センター
2月20日(金)～23日(月) 春一番園芸フェア
2月28日(土)～3月1日(日) グッドぐんまの農畜産物フェア
- ☆愛菜館
2月8日(日)・18日(水)・28日(土) 8の日 お米特売
2月19日(木) 肉の日特売
- 造園工事推進

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 施設園芸肥料推進
- コンニャク農薬推進
- 果樹農薬推進

農業機械課

- 丸山サンクスキャンペーン (周年)

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 生花利用拡大運動推進 (周年)
- エコーペットボトル茶推進 (周年)
- 蔵出しいよかん・せとか推進 (1月～2月)
- デコボン推進 (2月～3月)
- 仕込み味噌推進 (平成26年10月～平成27年3月)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

ガス課

- 新生活応援キャンペーン



JA 青森館林いたくらセルフ給油所竣工式
(1.12 いたくら給油所)



第18回群馬県きのか品評会
(1.27・28 県庁)

■管内初のセルフ給油所堂々オープン

1月12日(月)、JA 青森館林と当県本部の一体化運営によるセルフ給油所の完成に伴い、「JA 青森館林いたくらセルフ給油所竣工式」が執り行われました。16日(金)～19日(月)にはオープニングイベントが開催され、多くの人で賑わいました。JA 青森館林管内では初めてのセルフ給油所であり、計量機とつり銭機が一体となった最新の設備を導入し、地域に愛される給油所を目指します。

■自慢のきのこがずらり

1月27(火)・28日(水)、県・群馬県きのか振興協議会・当県本部共催の「第18回群馬県きのか品評会」が開催されました。この催しは、きのこの品質向上と消費拡大を促進し、きのこ栽培の安定化を助長するとともに、県産きのかの振興に寄与することを目的に毎年開催されています。良質な生しいたけ・まいたけ・なめこなどが多数出品され、審査及び表彰、きのこ汁の試食、展示品即売会などが行われました。



第8回共乾施設運営管理・環境整備コンクール
(1.28 ライスセンター
2.6 カントリーエレベーター)



資産承継セミナー
(1.29 JAビル)

■安全対策の徹底を図る

当県本部が事務局を務める群馬県農協穀類乾燥調製(貯蔵)施設協議会の主催により、共乾施設の適切な運営管理と環境整備、作業の安全、品質事故の防止などを目的とした「第8回共乾施設運営管理・環境整備コンクール」が開催されました。審査員は、1月28日(水)にライスセンターを、2月6日(金)にカントリーエレベーターを巡回し、施設の防災対策・環境美化・書類の保管状況などについて審査しました。審査結果については、次年度の総会時に発表・表彰する予定です。

■円満な相続のための遺言作成準備のために

1月29日(木)、施設住宅課主催の「資産承継セミナー」が開催され、組合員約80名が参加しました。このセミナーでは、草薙法律事務所所長兼JA全中・JAまちづくり情報センター顧問の草薙一郎氏を講師に迎え、「円満な相続のための相続法務」をテーマにした講義が行われました。遺言作成のための準備や遺言内容、遺産分割調停と審判の違いなどについて、判例や相談事例を交えた説明が行われ、参加者はメモを取りながら熱心に受講していました。



平成28年産民間流通麦に係る意見交換会
(1.30 前橋市内)

■需要に即した生産を図る

1月30日(金)、「平成28年産民間流通麦に係る意見交換会」が開催され、生産者団体・実需者・行政関係者など約35名が参加しました。会場では、生産者側と実需者側が、円滑な流通とミスマッチの発生抑制のために、26年度産の単収の設定状況の検証・確認や27年産の販売予定数量と購入希望数量のミスマッチの状況を踏まえて、28年産に向けた取り組みについて協議を行いました。

■復興のシンボルに期待

1月31日(土)、「JA佐波伊勢崎あずま野菜集送センター竣工記念式典」が執り行われ、設計及び施主代行を務めた当県本部も出席しました。挨拶に立った児島組合長は、「同センターは昨年2月に発生した雪害により倒壊し、甚大な被害を受けた。集送業務の再開により、県内有数の食糧提供基地としての役割を取り戻したい。」と述べ、完成を祝いました。新しいセンターは、雪害にも



十分耐えられるよう耐久性を強化し、デザインも一新されています。



JA佐波伊勢崎あずま野菜集送センター竣工記念式典
(1.31 あずま野菜集送センター)

■新鮮な農畜産物を求め長蛇の列

2月6日(金)、待望のJA佐波伊勢崎農産物直売所「からか〜ぜ まゆの郷」がオープンし、多くの人で賑わいました。新店舗は、国道354バイパス沿いの境百々に建設され、地元の新鮮野菜や果物、加工品を中心に豊富な品揃えとなっており、店内に完備されているベーカリー施設では、JAオリジナルのパンも提供しています。また、コンビニエンスストアのミニストップが別棟で併設されることから、相乗効果による更なる集客力アップが期待されています。



JA佐波伊勢崎
農産物直売所「からか〜ぜ まゆの郷」オープン
(2.6 からか〜ぜ まゆの郷)

新銘柄「厳選上州和牛」が誕生

～ 厳選上州和牛証明書受け渡し式 (株)群馬県食肉卸売市場 ～

群馬県食肉品質向上対策協議会は、県産和牛の名声を高め更なる消費拡大を図るため、平成27年1月より、上州和牛の中で特に肉質に優れた上州和牛(肉質等級が5～4等級で枝肉に瑕疵がない)を「厳選上州和牛」として認定し、1頭ごとに証明書を発行しています。

1月6日(火)には、新銘柄誕生を記念した「厳選上州和牛証明書受け渡し式」が執り行われ、購買者を代表して、JA高崎ハム(株)へ(株)群馬県食肉卸売市場の齊藤社長より証明書が授与されました。



▲ 式の様子 ▲



▲ 厳選上州和牛ロゴマーク

実演研修でスキルアップを図る

～ 平成26年度施肥面談実習講習会 土壌診断センター ～

1月28日(水)、土壌診断センター主催の「平成26年度施肥面談実習講習会」が開催され、県内JA・JA東日本くみあい飼料(株)・当県本部の担当者など約35名が参加しました。今回の講習会では、毎年開催されている「土壌・肥料技術基礎研修会」の内容を一新し、より実践的に土壌診断に基づく肥料の推進および診断表を説明できる能力を身に付けるべく、施肥面談の実習を取り入れました。

参加者は、午前中は施肥面談の方法や肥料推進の優良実例をJAの担当者から説明を受け、午後から

は施設きゅうり・施設トマト・水稻・露地ほうれん草を担当する4班に分かれ、それぞれの品目ごとに用意された土壌診断表を基に、施肥設計や組合員との面談方法について討議しました。各班の代表者は、組合員を演じる講師などを相手に訪問時の施肥面談を実演し、適正な肥料・農薬推進、組合員からの質問への対処法などについて学びました。講習会終了後、参加者からは、「難しかったが勉強になった」などの感想が寄せられました。



▲ 講習会場の様子



▲ 各班の代表者が施肥面談を実演 ▲



みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
美味しさを食卓に 「美味開運! 高崎そだち」 / JAたかさき	※ 3月1日(日)	AM 8:00～8:30
	3月9日(月)	PM 9:00～9:30
豪雪被害から一年 / JA群馬中央会	※ 3月15日(日)	AM 8:00～8:30



三隅 有里子 アナ

洋蘭各種大特価！今年也大盛況！

～ 洋蘭フェア 花木流通センター ～



今年も花木流通センターでは、恒例の「洋蘭フェア」が1月31日(土)・2月1日(日)の2日間に渡り開催されました。会場内は、シンビジウム・カトレア・胡蝶蘭などの色とりどりの洋蘭各種で埋め尽くされ、良品質の鉢花が大特価で購入出来るとあって、両日共に店内には長蛇の列が出来ました。また、2月1日(土)には「いちご祭り」も同時開催され、新鮮な農産物を買求める人で賑わいました。

品質向上へ向けて高め合う

～ 第22回ぐんまふれあいミートフェスタ 群馬県枝肉共励会 肉豚の部褒賞授与式 (株)群馬県食肉卸売市場 ～



2月3日(火)～5日(木)、本県家畜の改良増殖と家畜経営の活性・安定化を図り、消費者及び流通業者などの求める食肉を衛生的な食肉処理場で処理し、ニーズに合った安全性の高い食肉を展示・PRすることにより、群馬県産食肉の名声を高めることを目的とした「第22回ぐんまふれあいミートフェスタ 群馬県枝肉共励会 肉豚の部」が開催されました。

厳正な審査の結果、入賞者が決定し、5日(木)に褒賞授与式が執り行われました。名誉賞受賞者をご紹介します。

■総合の部

前橋市	志塚 農産
-----	-------

■個体の部

(雌)		(去勢)	
前橋市	志塚 農産	富岡市	山室 一重

パールライス®

新発売

是非お試し/ください

地産地消で
元気なぐんま!!

群馬県産ブレンド米

鶴の舞

群馬県産ブレンド米「鶴の舞」発売記念

群馬のお米応援キャンペーン

キャンペーン期間中「鶴の舞」をご購入いただいたお客様に抽選で

群馬県産上州牛・上州麦豚を

毎月100名様、合計**400**名様に

プレゼント!!

鶴賞
上州牛肩ロースすき焼き用
500g

舞賞
上州麦豚ロースすき焼き用
500g

※写真はイメージです。

キャンペーン期間

2014年12月1日～2015年3月31日まで

キャンペーンの応募・お問い合わせ先

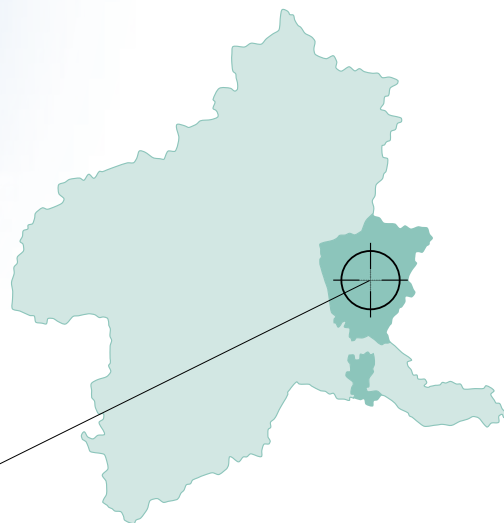
〒379-2147 前橋市亀里町 1310 番地

JA全農ぐんま 米麦特産課

「群馬のお米応援キャンペーン」係 ☎027-220-2271

農業 チャレンジャー

JAにつたみどり



きゅうりに栽培に込める熱き思い

JAにつたみどり管内 山形 直樹 さん



山形 直樹
(やまがた・なおき) さん
1980年生まれ、34歳。

栽培面積：50a
趣 味：ゴルフ

就農までの道のり

今回のチャレンジャーは、JAにつたみどり管内できゅうりの栽培を行う山形さんです。「農業に勤しむ両親の姿を見て育ち、手伝いをするうちに、自分でもやってみたいと思うようになりました。高校を卒業後、東京の農業者大学校に進学し、4年間農業を学びました。在学中、きゅうりの育種開発や種子の生産・販売を行う(株)ときわ研究場で1年間の研修を受けたのですが、そこで培った知識や経験は大きな財産であり、現在に活かされています。」と話してくれました。

今の時期は、1月に定植した苗の管理が主な仕事です。両親・祖母・従業員と共に、きゅうり栽培に邁進しています。

こだわりのきゅうりを消費者へ

きゅうりの出荷選別作業は、ほとんど手作業のため、時間と労力がかかります。山形さんの農場では、5年程前、新里地区では初めて自動選別機を導入しました。これにより、作業時間が大幅に短縮されたそうです。「就農して今年で13年目になります。『家族と過ごす時間を大切にしたい』という思いから、様々な方

法で作業効率の向上を図ってきました。とは言っても、最終段階の袋詰めは1本1本検品しながら手作業で行います。これからも、消費者の皆さんに安全・安心・美味しいきゅうりを届けていきたいです。」と話してくれました。

後継者としての思い

山形さんは、JAにつたみどり青年部に所属しています。「情報交換や視察研修を行っており、同世代の生産者と交流することが出来る良い機会となっています。また、20代の若手の存在も頼もしい限りです。後継者が増えて、地域農業が活性化することを願っています。」と話します。

最後に、今後の展望を伺うと、「今は父親が主体ですが、ゆくゆくは自分が経営を継ぐことになります。そのため、設備や要員に関する計画をたて、独自の経営方法を常に模索しています。また、周年栽培を実現させるためにも、新しい作物の栽培も視野に入れています。自分らしい農業経営に向けて、これからも頑張ります。」と山形さん。

前向きな気持ちで農業と向き合う姿に、今後一層の活躍が期待されます。



1 「農業をやってきて良かった。」と話す山形さん。やりがいを感じている。

2 父親の隆さんと一緒に。

3 家族と共に、秀品率の高い生産を目指している。

4 定植後、11日目のきゅうり苗。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JA利根沼田
営農部 営農企画課

庭野 正幸さん

Profile

にわの・まさゆき（38歳）

好きなこと………皆でお酒を飲むこと
最近気になること……幕末・明治の歴史
行ってみたい場所………高知・鹿児島県

●職場の皆さんからみた庭野さん

「業務に熱心に取り組む姿が印象的です。ムードメーカーでもあり、職員一同頼りにしています！」

「組合員のニーズに応えたい」

——どうしてJAで働こうと思ったのですか？

実家は非農家ですが、地域に密着した仕事に就きたいと思っていたこともあり、就職を決めました。

——実際に入組してみてどうでしたか？

JAといえば、野菜や畜産のイメージが強かったので、様々な事業を幅広く展開していることに驚きました。

——現在の仕事内容を教えてください。

育苗センターで水稻を育苗し、組合員へ供給しています。また、高原野菜栽培のサポートや品種試験、食の安全・安心対策におけるトレサビ（生産履歴記帳）システムの運用管理、残留農薬の自主検査なども行っています。

——以前はどのような仕事をしていたのですか？

10年間、支所で購買業務を担当しており、商品の受発注や配達を行っていました。

——仕事をするにあたり、気をつけていることがあれば教えてください。

組合員の方々からの要望に迅速かつ的確に応えられるよう、資格取得や研修を通して、知識の習得に励んでいます。サービス精神を忘れず、皆さんに満足してもらえるよう日々努力しています。

——職場の雰囲気はhowですか？

一致団結し、業務に取り組んでいます。去年から新入職員が入ってきたので、積極的にコミュニケーションをとるようにしています。

——歴史に興味があるそうですね。

はい。NHK大河ドラマの「竜馬伝」を見てから、すっかり歴史にはまってしまいました。特に「幕末・明治」が好きで、家族と一緒にゆかりの地を巡りたいですね。

——ご家族も歴史好きなのですか？

そうですね。2人の息子とは、一緒に竜馬伝のDVDを見て楽し

んでいます。息子たちには、歴史上の人物のように男らしく育てて欲しいです。

——最後に、今後の意気込みを聞かせてください。

農業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いています。だからこそ、組合員のため、JAにしか出来ないような取り組みを提案していければと思っています。今後も若手为中心となり、地域農業を盛り上げていきたいです！

——庭野さん、お忙しい中ありがとうございました。



▲白小豆の出荷作業を行う庭野さん（写真中央）

畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は1月26日に12月の牛乳乳製品統計を公表した。12月生乳生産量は61万3,257tで前年同月比0.5%の減となった。北海道は32万549t(前年同月比0.5%増)で生産量の全国シェアは52.3%となった。

都府県の生産量は29万2,708tとなり、前年同月比で1.6%減少した。

■販売及び乳製品情勢

12月の用途別処理量は、牛乳等向けが30万6,000t(前年同月比0.4%減)、乳製品向けが30万2,239t(〃0.8%減)となった。

飲用牛乳等生産量は27万7,291ℓ(〃0.3%減)で前月から0.5ポイント増加し、内牛乳が24万35ℓ(〃0.6%増)、さらに乳飲料は9万6,382ℓ(〃4.4%減)で前月より1.9ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
生乳	全	626,346	572,501	643,041	626,764	650,316	618,861
生産量	群馬(委託実績)	18,314	15,987	19,066	18,815	19,236	17,948
	本会(委託実績)	5,901	5,294	6,256	6,193	6,293	5,833
用途別	飲用牛乳等向け	313,870	302,630	315,910	318,995	342,141	345,154
処理量	乳製品向け	307,918	265,027	322,423	302,703	303,151	268,658
	その他向け	4,558	4,844	4,708	5,066	5,024	5,049
前年対比	生乳生産量(全国)	97.2	96.3	96.8	96.4	96.9	97.0
	〃(群馬)	97.7	91.7	95.8	96.0	96.4	96.3
	〃(本会)	103.1	98.9	102.1	94.4	94.8	94.7
	飲用牛乳等向け	97.9	100.5	98.5	98.4	98.8	99.6
	乳製品向け	96.6	91.8	95.1	94.2	94.7	93.6
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	618,018	600,000	583,464	598,138	583,790	613,257	7,334,496
	17,609	16,953	16,478	16,997	16,740	17,449	211,592
	5,646	5,411	5,264	5,468	5,364	5,559	68,482
	337,099	316,617	342,273	345,738	324,568	306,000	3,910,995
	275,983	278,484	236,281	247,492	254,239	302,239	3,364,598
	4,936	4,899	4,910	4,908	4,983	5,018	58,903
	97.8	98.8	98.4	98.3	99.3	99.5	97.7
	96.3	96.5	96.6	96.6	98.1	97.2	96.3
	94.2	95.5	94.0	94.8	96.4	95.8	96.6
	96.4	96.2	96.8	98.7	99.7	99.6	98.4
	99.4	101.6	100.6	97.7	98.7	99.2	96.9

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(2月予想)

牛肉は生産量が落ち込むため前年より高い水準で持合い。農畜産業振興機構は2月の和牛出荷頭数を前年比6%減の3万4000頭と予測する

肉牛枝肉相場(予想)

和牛去勢A5 2,450円中心
和牛去勢A4 2,200円中心

和牛去勢A3 2,050円中心
和牛去勢A2 1,730円中心
交雑去勢B5 1,840円中心
交雑去勢B4 1,540円中心

交雑去勢B3 1,350円中心
交雑去勢B2 1,300円中心
乳牛去勢B2 880円中心

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
和牛	25年-26年	1,749	1,829	1,901	1,829	1,832	1,896	1,929	1,999	2,076	1,900	1,904	1,896
去勢	26年-27年	1,899	1,914	1,893	1,862	1,959	2,006	2,129	2,166	2,163	2,297		2,029
A4	前年格差	150	85	▲8	33	127	110	200	167	87	397		133
和牛	25年-26年	1,627	1,717	1,710	1,664	1,649	1,710	1,780	1,852	1,813	1,658	1,693	1,716
去勢	26年-27年	1,669	1,664	1,658	1,662	1,726	1,797	1,988	2,019	1,933	2,059		1,818
A3	前年格差	42	▲53	▲52	▲2	77	87	208	167	120	401		102
和牛	25年-26年	1,508	1,472	1,522	1,441	1,405	1,521	1,662	1,579	1,583	1,371	1,516	1,505
去勢	26年-27年	1,516	1,492	1,486	1,455	1,532	1,663	1,757	1,863	1,648	1,819		1,623
A2	前年格差	8	20	▲36	14	127	142	95	284	65	448		118

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
25年-26年	1,236	929	898	1,126	1,098	1,090	1,162	1,584	1,385	1,132	1,186	1,139	13,965
26年-27年	1,291	1,098	1,104	1,262	1,068	1,216	1,232	1,465	1,385	1,005			12,126
前年増減	55	169	206	136	▲30	126	70	▲119	0	▲127			▲1,839

■素牛動向

- ①全農・取引基準価格(乳去) 260~300kg 573円/kg平均(前月比106.3%)
②F1価格(去勢) 250~300kg 1,251円/kg平均(雌) 250~300kg 1,148円/kg平均
③和牛子牛(去勢) 627千円平均(前月比99%) (雌) 542千円平均(前月比98%)

養豚情勢

枝肉相場関係

豚群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

※平成25年4月より相対を含む。

（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
24年-25年(A)		397	420	479	443	468	425	365	358	418	363	390	404	411
25年-26年(B)		450	499	485	498	507	499	466	477	521	458	467	496	485
26年-27年(C)		553	582	621	580	548	548	517	569	609	547			567
(B-A)		53	79	6	55	39	74	101	119	103	95	77	92	74
(C-B)		103	83	136	82	41	49	51	92	88	89			82

豚肉価格形成要因

豚群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜頭数	25-26年	42,393	40,315	34,599	40,317	37,843	39,480	47,010	43,823	45,029	43,425	39,985	39,852	494,071
	26-27年	44,690	39,069	36,628	39,821	35,032	40,542	44,979	36,865	41,060	39,158			397,844
前年比(%)		105.4	96.9	105.9	98.8	92.6	102.7	95.7	84.1	91.2	90.2			80.53

肉豚生産出荷予測（全国） *12月まで実績／1月以降の出荷予測は

1月19日付けで農水省畜産部食肉鶏卵課が発表

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	9月	7~9月	10月	11月	12月	10~12月	1月	2月	3月	1~3月	4月	5月	6月
全国出荷予測頭数(千頭)		1,336	3,894	1,429	1,288	1,470	4,187	1,395	1,315	1,365	4,075	1,367	1,282	1,244
前年同月比(%)		98	96	93	86	95	91	96	98	100	98	98	98	100.4

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、2月の出荷見込頭数は1,315千頭（前年同月比98%）となっている。その後は3月1,365千頭（〃100%）、4月1,367千頭（〃98%）と予想されている。豚肉相場は上向く。冷え込む日が多く、鍋物需要を中心に荷動きは良い。価格面で競合しやすい輸入冷蔵品は円安による単価高に加え米国西海岸の港湾ストの影響で米国、カナダ産の入荷が安定しない。PEDの影響は和らぐが国内生産量は前年を下回る見込。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

15年2月200円（見込み） 83%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
25年-26年(A)		172	164	155	157	175	211	220	260	280	224	240	230	207
26年-27年(B)		223	204	199	190	192	231	240	242	248	192			216
(B-A)		51	40	44	33	17	20	20	▲18	▲32	▲32			9
全国基金	25-26年	15.714	21.645	24.3	24.3	9.306	0	0	0	0	0	0	0	
補填	25-27年	0	0	0	2.088	0	0	0	0	0	2.907			

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：1月の平均単価は192円（前年同月▲32円）と前年同月を下回り、平成26年2月～平成27年1月期平均は219円（前年同期比+20円）であった。

■出荷動向：年末年始に生産調整を行った鶏の産卵が回復し、生産量が増える。

■需要動向：需要ピークの節分を過ぎ、1月後半に上伸した水準から下げに向かう。ただスーパー特売や寒さによる鍋物需要が動くため、下げ幅は例年より小さい。

卵価要因

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
加工卵輸入	25年	1,838	1,961	1,997	2,283	2,151	1,776	2,084	2,488	1,867	2,201	2,451	2,631	25,728
実績(t)	26年	3,060	2,845	2,688	2,286	2,314	2,393	2,427	2,137	1,974	2,273	1,877		26,274
前年比(%)		166.5	145.1	134.6	100.2	107.6	134.8	116.5	85.9	105.7	103.3	76.6		102.1
餌付羽数	25年	7,215	7,317	7,520	7,742	7,767	7,895	7,200	6,896	8,170	7,346	7,464	7,636	90,168
(千羽)	26年	7,251	7,569	7,734	7,715	8,291	8,405	8,408	7,048	8,622	8,071	7,369	8,295	94,778
前年比(%)		100.5	103.4	102.8	99.7	106.7	106.5	116.8	102.2	105.5	109.9	98.7	108.6	105.1

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 22年:194円
(1) 16年:173円 (4) 19年:169円 (8) 23年:188円
(2) 17年:204円 (5) 20年:193円 (9) 24年:181円
(3) 18年:184円 (6) 21年:175円 (10) 25年:207円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

1月12日の米国農務省需給見通しによると、米国とうもろこしの新穀2014/15年度産における単収は171.0ブッシェル/エーカーと前回発表より2.4ブッシェル/エーカー下方修正された。期首在庫と作付面積についてもそれぞれ、1,232百万ブッシェル(前回発表から4百万ブッシェル下方修正)および90.6百万エーカー(前回発表から0.3百万エーカー下方修正)と見通され、生産量も14,216百万ブッシェルと前回発表から191百万ブッシェル下方修正となった。需要量については、異性化糖向けおよびエタノール向けの需要が増加したものの、飼料向け需要が減少したため前月発表から75百万ブッシェル下方修正され、期末在庫は前回発表より121百万ブッシェル減の1,877百万ブッシェル(在庫率13.81%)に下方修正された。

シカゴ定期は、2014/15年度に対する米国農務省の需給見通しは強気な内容であったものの、同日に発表された2014年12月1日時点の全米在庫が前年同時期を750百万ブッシェル上回り、また市場関係者の事前予想をも上回ったため軟調に推移した。直近3月限は380セント/ブッシェル前後で推移している。

FOBプレミアムは、冬場は河川の凍結による物流への影響および船運賃の上昇が懸念されるが、現在のところ大きな混乱は起きていない。直近では原油価格下落に伴う船燃料の価

格低下により、一時の高騰していた状況から落ち着きを取り戻しつつある。

②大豆粕

1月12日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2014/15年度産の供給量は、単収が47.8ブッシェル/エーカー(前回発表47.5ブッシェル/エーカー)へ上方修正されたことなどから、4,076百万ブッシェル(前回発表4,065百万ブッシェル)となった。需要量は輸出需要の増加により、前回発表から10百万ブッシェル上方修正され、1,770百万ブッシェルとなった。期末在庫は供給量の増加と需要量の増加が相殺され、410百万ブッシェル(在庫率11.18%)と前回発表から据え置かれた。

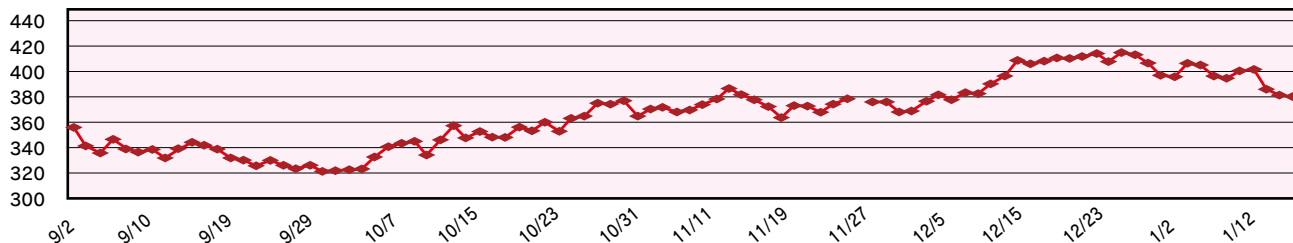
大豆粕のシカゴ定期は、新穀大豆の生産増期待から軟調に推移しており、3月限は330ドル/ショートトン前後で推移している。

■海上運賃

パナマックスのガルフ/日本運賃は、直近については北米新穀の輸送需要が一段落したこと、および燃料価格が下落したことを受け軟調に推移しており、南米の新穀輸送が本格化するまでは横ばいから軟調傾向が続くと思われる。

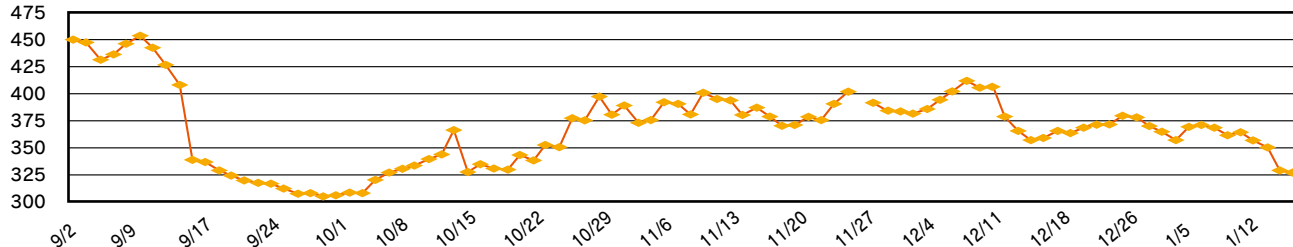
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



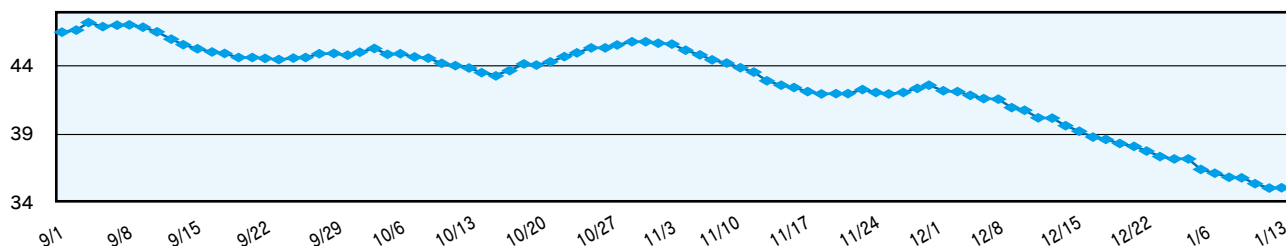
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

花木流通センター・ 愛菜館 大創業祭開催!!

日頃の感謝の気持ちを込めて、お得な商品や楽しいイベントが盛りだくさん☆

愛菜館14周年大創業祭

日時 3月7日(土)・8日(日)

両日

●花苗プレゼント(お買い上げ1,000円以上で)

7日(土)

●群馬県食肉卸売市場 上州牛・上州豚試食販売

8日(日)

●生産者による青空市
●県産農畜産物を使用した豚汁の無料配布

花木流通センター40周年大創業祭

日時 3月20日(金)～23日(月)

●群馬県食肉卸売市場 上州牛・上州豚試食販売
●JA高崎ハム(株) 出張販売 など

※各種イベント・講習会へのお問い合わせは花木流通センターまで

3月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください!

開催日	内容
3月1日(土) 10:00～	じゃがいも栽培講習会 【参加費無料・申し込み不要】
3月7日(土) 8日(日)	愛菜館14周年大創業祭
3月12日(木) 10:00～ 14:00～	花の寄せ植え講習会(各回20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先:ふらわーらんど】
3月15日(日) 10:00～	肥料講習会 【参加費無料・申し込み不要】
3月15日(日) 10:00～	花の寄せ植え講習会(20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先:ふらわーらんど】
3月20日(金) ～23日(月)	花木流通センター 40周年大創業祭

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～9月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

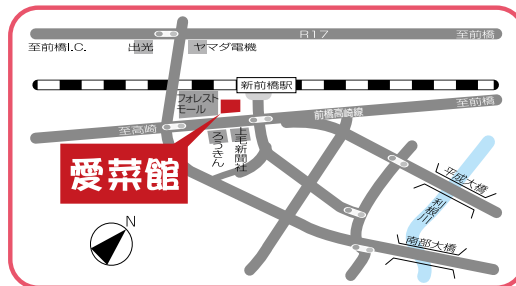
前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番
「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



春野菜の 苺ドレッシングサラダ

材 料

2人分

(1人分133cal)

生グリーンピース
..... 50g
レタス 2枚
紫キャベツの
スプラウト 1パック
クレソン 1袋
うど 70g
苺(飾り用) 5個

【苺ドレッシング】

苺 5個
A { レモン汁... 大さじ2
酢 大さじ1
塩 小さじ1/3
コショウ 適量

作り方

- 1 グリーンピースは塩茹でし、さやから豆を取り出す。
- 2 レタスは1cm幅に切る。
- 3 スプラウトの根を切り、水につけパリッとさせてから水けをきる。
- 4 クレソンはザックリと3つ切りにする。
- 5 うどは皮をむき、薄く輪切りにし、酢水につけてアク抜きしてから水けをきる。
- 6 飾り用の苺は縦に4つ切りにする。
- 7 苺ドレッシングを作る。ボウルに苺を入れ、細かくつぶし、Aの材料を加えてよく混ぜる。
- 8 器に野菜を盛り、苺とグリーンピースを飾る。
- 9 苺ドレッシングをかけて食べる。